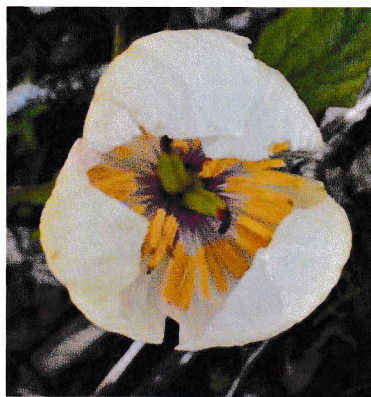


伊吹山ネイチャーネットワーク 調査事業部

2021年度実施した 希少植物の調査のうち 一部を写真で報告します



ヤマシャクヤク (滋賀:希少種)
北尾根で確認 笹又の個体は
開花には至らなかった



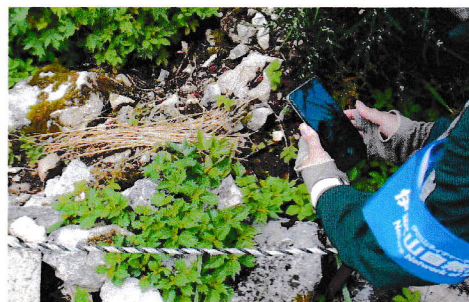
アカヒダボタン
(岐阜:準絶滅危惧種)
ボタンネコノメソウに似るが、近年
ヒダボタンの新変種とされた。山
頂では数が減っている。写真は
北尾根



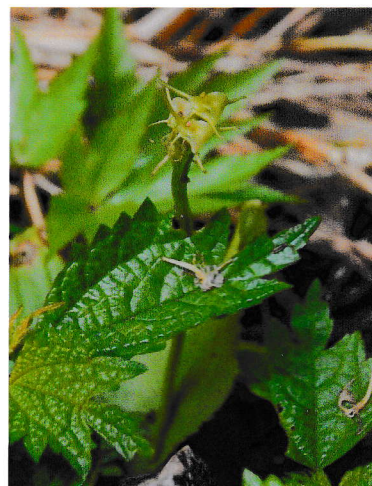
ヤマブキソウ
(滋賀:絶滅危惧増大種)
山頂の西登山道・笹又道・北尾根
など、広く見られたが激減してい
る。写真は北尾根



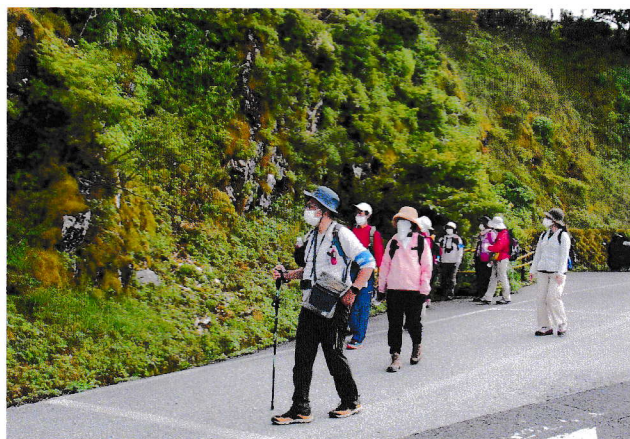
スズムシソウ (滋賀:要注目種)
この数年、確認され伊吹山関係者の間で話題になって
いるラン科の植物。「セイタカスズムシソウではない
か?」という声もあるが、一応「スズムシソウ」と判断して
いる。ラン愛好家による盗掘を心配する。



山頂山小
屋近辺で
クモキリソ
ウを確認



クモキリソウ (滋賀:その他重要種)
山頂の西登山道に生育していた個体は、周辺を鹿
食害による裸地化のため土砂で流された。ドライ
ブウェイ北斜面は鹿食害の影響が少なく、今もクモ
キリソウは確認できる。



ドライブウェイ駐車場の北斜面を観察・調査
する本会の会員